

2020年3月期 第2四半期 決算説明資料

2019年11月13日

近鉄グループホールディングス株式会社
(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

第2四半期決算概要 2

通期業績予想 16

第2四半期決算概要

四半期連結損益計算書

(単位：百万円,%)

	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増 減	増 減 率	増 減 要 因	直近予想	増 減
営業収益	601,126	613,429	12,302	2.0	「セグメント別業績」参照	605,000	8,429
営業利益	33,707	36,688	2,980	8.8	「セグメント別業績」参照	30,000	6,688
営業外収益	5,945	4,239	△ 1,705	△ 28.7			
うち持分法による投資利益	3,922	2,410	△ 1,512	△ 38.6			
営業外費用	5,974	5,426	△ 547	△ 9.2			
うち支払利息	4,364	4,099	△ 264	△ 6.1			
経常利益	33,678	35,500	1,822	5.4		29,000	6,500
特別利益	6,142	5,532	△ 609	△ 9.9	工事負担金等受入額 △ 319		
特別損失	7,035	6,671	△ 363	△ 5.2	工事負担金等圧縮額 △ 325		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21,467	21,085	△ 381	△ 1.8		17,000	4,085

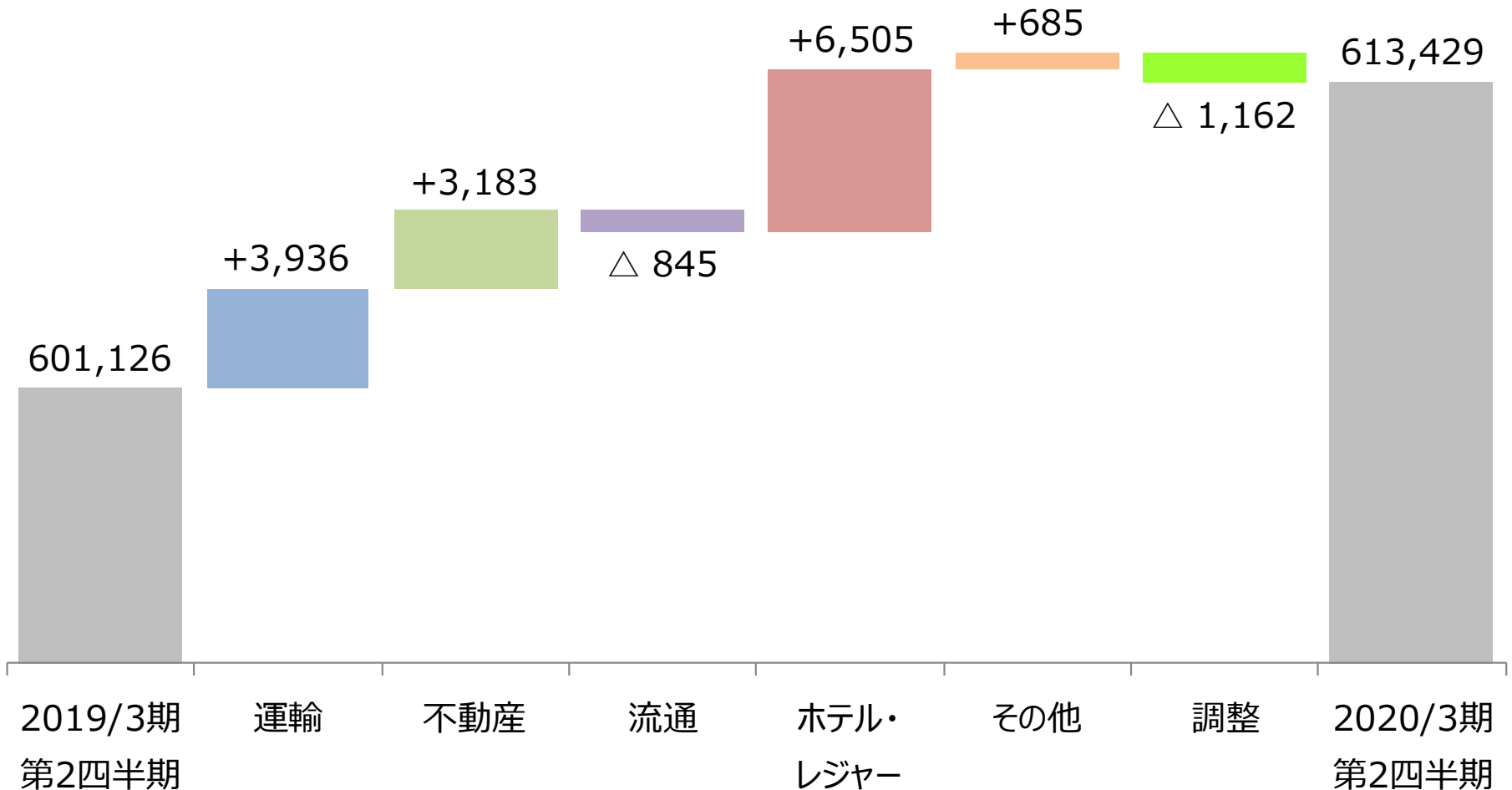
連結子会社数 81社（前期末比1社減）

持分法適用会社数 8社（前期末比増減なし）

決算ポイント（営業収益）

運輸業で前年の自然災害の反動や本年の大型連休期間の利用客増加等により鉄軌道部門等が増収となったほか、ホテル・レジャー業で個人旅行商品の販売が好調であったため、連結全体で増収

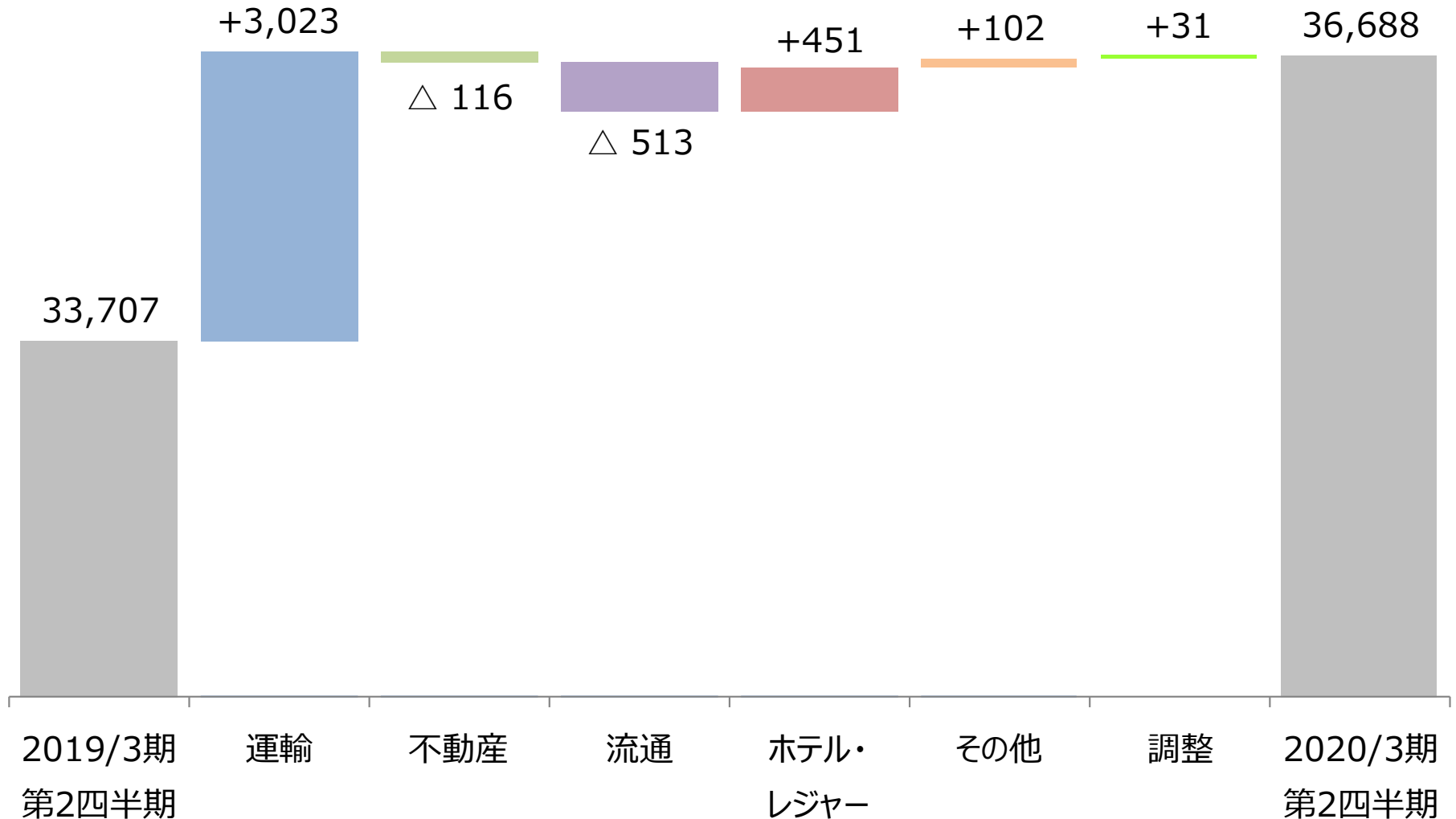
（単位：百万円）



決算ポイント（営業利益）

運輸業やホテル・レジャー業での増益が、不動産業でのマンション売上原価等の諸費用の増加、流通業における減価償却費等の増加による影響を補い、連結全体で増益

（単位：百万円）



セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増 減	増 減 率	直近予想	増 減
運 輸	営業収益	111,636	115,573	3,936	3.5	113,000	2,573
	営業利益	16,882	19,906	3,023	17.9	16,700	3,206
不 動 産	営業収益	66,730	69,913	3,183	4.8	66,000	3,913
	営業利益	8,290	8,174	△ 116	△ 1.4	6,000	2,174
流 通	営業収益	195,247	194,401	△ 845	△ 0.4	190,000	4,401
	営業利益	3,329	2,816	△ 513	△ 15.4	2,500	316
ホテル・レジャー	営業収益	242,695	249,201	6,505	2.7	250,000	△ 798
	営業利益	4,098	4,549	451	11.0	3,800	749
そ の 他	営業収益	7,951	8,636	685	8.6	9,000	△ 363
	営業利益	695	797	102	14.8	600	197
調 整	営業収益	△ 23,135	△ 24,297	△ 1,162		△ 23,000	△ 1,297
	営業利益	411	443	31		400	43
連 結	営業収益	601,126	613,429	12,302	2.0	605,000	8,429
	営業利益	33,707	36,688	2,980	8.8	30,000	6,688

(単位：百万円,%)

	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増減	増減率
営業収益	111,636	115,573	3,936	3.5
鉄軌道	77,594	80,450	2,856	3.7
バス	17,361	17,491	129	0.7
タクシー	5,805	5,753	△ 51	△ 0.9
鉄道施設整備	8,332	8,376	44	0.5
その他運輸関連	10,642	11,704	1,062	10.0
調整	△ 8,099	△ 8,204	△ 104	
営業利益	16,882	19,906	3,023	17.9
(主な内訳)				
鉄軌道	15,588	17,868	2,279	14.6
バス	761	883	122	16.1

《鉄軌道》

- 前年の自然災害による減収の反動や、本年は大型連休期間の行楽需要等により旅客が増加したことに加え、9月には消費税増税前の定期券等の駆け込み購入もあり増収増益

	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増 減	増減率(%)
輸送人員 (千人)	292,997	305,097	12,100	4.1
定期外	115,837	120,544	4,707	4.1
定期	177,160	184,553	7,393	4.2
営業収益 (百万円)	77,594	80,450	2,856	3.7
旅客収入	74,287	77,156	2,869	3.9
定期外収入	49,957	52,173	2,215	4.4
定期収入	24,329	24,983	653	2.7
運輸雑収等	3,307	3,294	△ 12	△ 0.4
営業利益 (百万円)	15,588	17,868	2,279	14.6

(単位：百万円,%)

	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増 減	増 減 率
営業収益	66,730	69,913	3,183	4.8
不動産販売	23,707	26,667	2,960	12.5
不動産賃貸	24,618	24,292	△ 326	△ 1.3
不動産管理	20,557	21,480	922	4.5
調整	△ 2,153	△ 2,526	△ 372	
営業利益	8,290	8,174	△ 116	△ 1.4
(主な内訳)				
不動産販売	668	627	△ 40	△ 6.0
不動産賃貸	6,976	6,584	△ 391	△ 5.6

《不動産販売》

- ・ マンション分譲が順調に進捗したこともあり増収となったが、マンションの売上原価等が増加したため減益

《不動産賃貸》

- ・ 主要賃貸物件が堅調に推移したものの、前期に施設用地を売却した反動や諸費用の増加により減収減益

(単位：百万円,%)

	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増 減	増 減 率
営業収益	195,247	194,401	△ 845	△ 0.4
百貨店	139,275	139,099	△ 175	△ 0.1
ストア・飲食	56,671	56,044	△ 627	△ 1.1
調整	△ 699	△ 742	△ 42	
営業利益	3,329	2,816	△ 513	△ 15.4
(主 な 内 訳)				
百貨店	2,490	2,114	△ 375	△ 15.1
ストア・飲食	838	701	△ 137	△ 16.4

《百貨店》

- 「あべのハルカス近鉄本店」は好調を維持したが、郊外店でテナント運営による専門店化を進めた影響により減収、基幹システムの更新により減価償却費が増加したため減益

《ストア・飲食》

- スーパーマーケットの店舗の閉鎖や建替えに伴う休業等により減収、人件費の増加もあり減益

(単位：百万円,%)

	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増 減	増 減 率
営業収益	242,695	249,201	6,505	2.7
ホテル	28,507	26,869	△ 1,638	△ 5.7
旅行	207,497	215,069	7,571	3.6
映画	1,760	1,957	197	11.2
水族館	5,016	5,391	375	7.5
調整	△ 86	△ 86	△ 0	
営業利益	4,098	4,549	451	11.0
(主な内訳)				
ホテル	886	△ 870	△ 1,757	—
旅行	1,527	3,373	1,846	120.9
水族館	1,563	1,861	298	19.1

《ホテル》

- 「ウェスティン都ホテル京都」の大規模リニューアル工事による客室の一部売り止めや新規ホテルの開業初期費用の増加等により減収減益

《旅行》

- 大型連休期間の個人旅行商品の販売が国内、海外とも好調であったことに加え、利益率も改善したため増収増益

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期 第2四半期	増 減	増 減 要 因
流動資産	289,716	288,446	△ 1,269	現金及び預金 △ 16,295 販売土地及び建物 7,978 旅行前払金 5,222
固定資産	1,643,828	1,637,952	△ 5,876	投資有価証券 △ 3,325
資産合計	1,936,417	1,929,274	△ 7,143	
流動負債	576,515	552,298	△ 24,217	1年以内償還社債 △ 30,640 旅行前受金 7,587
固定負債	946,851	956,484	9,632	社債 34,500 長期借入金 △ 24,379
負債合計	1,523,367	1,508,782	△ 14,585	
純資産合計	413,050	420,492	7,441	
うち利益剰余金	102,039	112,784	10,745	純利益 21,085 配当金 △ 9,524
うちその他の包括利益累計額	93,238	88,508	△ 4,729	
負債・純資産合計	1,936,417	1,929,274	△ 7,143	
借入金・社債残高	1,055,904	1,033,595	△ 22,308	
借入金	736,264	710,095	△ 26,168	
社債	319,640	323,500	3,860	

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,475	53,816	5,340
うち、税金等調整前当期純利益	32,785	34,361	1,575
うち、たな卸資産の増減額	△ 12,322	△ 10,730	1,591
うち、仕入債務の増減額	507	3,731	3,223
うち、法人税等の支払額	△ 5,640	△ 8,682	△ 3,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,684	△ 35,169	△ 8,484
うち、投資有価証券の売却	1,238	0	△ 1,238
うち、固定資産の取得による支出	△ 33,823	△ 40,802	△ 6,978
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 27,193	△ 34,809	△ 7,616
うち、借入金・社債の増減額	△ 15,224	△ 22,589	△ 7,364
現金及び現金同等物の増減額	△ 5,172	△ 16,329	△ 11,157
現金及び現金同等物の期首残高	52,763	52,089	△ 674
現金及び現金同等物の期末残高	47,529	35,760	△ 11,768

(単位：百万円)

	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増 減	増 減 要 因
設備投資	22,240	25,548	3,307	
運 輸 (うち鉄軌道)	9,083 (7,368)	7,162 (4,451)	△ 1,921 (△ 2,917)	
不動産	6,319	7,840	1,520	
流 通	4,563	4,735	171	
ホテル・レジャー	1,895	4,905	3,009	ホテル客室改装
その他	461	516	54	
調 整	△ 84	388	473	

減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	増 減
運 輸	減価償却費	13,364	13,557	193
	EBITDA	30,246	33,463	3,217
不 動 産	減価償却費	5,734	5,935	201
	EBITDA	14,025	14,110	85
流 通	減価償却費	3,507	3,703	196
	EBITDA	6,836	6,520	△ 316
ホテル・レジャー	減価償却費	2,133	2,120	△ 13
	EBITDA	6,232	6,669	437
そ の 他	減価償却費	872	824	△ 47
	EBITDA	1,567	1,622	54
調 整	減価償却費	164	148	△ 16
	EBITDA	576	591	14
連 結	減価償却費	25,776	26,289	512
	EBITDA	59,484	62,977	3,493

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

通期業績予想

(単位：百万円,%)

	2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増 減	増 減 率	直近予想	増 減
営業収益	1,236,905	1,259,000	22,094	1.8	1,249,000	10,000
営業利益	67,779	66,000	△ 1,779	△ 2.6	65,000	1,000
経常利益	67,129	64,000	△ 3,129	△ 4.7	63,000	1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	35,962	36,000	37	0.1	35,000	1,000
持分法による投資利益	7,140	5,500	△ 1,640	△ 23.0	5,500	0
支払利息	8,611	8,200	△ 411	△ 4.8	9,000	△ 800

【主な増減要因】 ※営業収益・営業利益は次ページ以降をご参照ください

〈前年比〉

経常利益 持分法による投資利益の減少もあり減益見込み
 親会社株主に帰属する当期純利益 減損損失等の減少により特別損益の改善を見込むため前年並みを予想

〈直近予想比〉

経常利益 営業増益により増益見込み

セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増 減	増 減 率	直近予想	増 減
運 輸	営業収益	226,754	228,000	1,245	0.5	227,000	1,000
	営業利益	32,943	32,600	△ 343	△ 1.0	31,800	800
不 動 産	営業収益	164,245	169,000	4,754	2.9	168,000	1,000
	営業利益	18,698	18,100	△ 598	△ 3.2	17,500	600
流 通	営業収益	393,670	396,000	2,329	0.6	388,000	8,000
	営業利益	7,783	7,200	△ 583	△ 7.5	7,000	200
ホテル・レジャー	営業収益	481,818	494,000	12,181	2.5	494,000	0
	営業利益	6,185	6,100	△ 85	△ 1.4	6,100	0
そ の 他	営業収益	18,174	19,000	825	4.5	19,000	0
	営業利益	1,491	1,400	△ 91	△ 6.1	1,400	0
調 整	営業収益	△ 47,757	△ 47,000	757		△ 47,000	0
	営業利益	677	600	△ 77		1,200	△ 600
連 結	営業収益	1,236,905	1,259,000	22,094	1.8	1,249,000	10,000
	営業利益	67,779	66,000	△ 1,779	△ 2.6	65,000	1,000

主な増減要因（前年比）

《運 輸》

- 営業収益は、鉄軌道部門で、本年10月の消費税引き上げによる影響を見込むものの、前年の自然災害による減収の反動増に加え、大型連休期間における行楽需要による旅客増等により増収予想
- 営業利益は、鉄軌道部門での費用の増加により減益見込み

《不動産》

- 不動産販売部門で、マンション販売戸数の増加により増収を見込むが、売上原価や販売経費の増加も見込まれるため減益予想

《流 通》

- 百貨店部門で、消費税増税により百貨店売上高が減少する見込みであるが、内装子会社における大口受注等により増収予想
- 営業利益は、百貨店の基幹システムの更新に伴う減価償却費の増加等もあり減益予想

《ホテル・レジャー》

- 営業収益は、ホテル部門で、新規開業の「都シティ東京高輪」や「都ホテル博多」の収益貢献を見込むほか、旅行部門で、大型連休期間における個人旅行販売が好調に推移したこともあり増収予想
- 営業利益は、旅行部門で増益を見込むも、ホテル部門での改装費用や新規ホテルの開業初期費用の増加もあり減益予想

主な増減要因（直近予想比）

《運 輸》

- 営業収益は、鉄軌道部門において10月の台風接近の影響はあるものの、大型連休期間の行楽需要による旅客増等により増収予想
- 営業利益は、修繕費や広告宣伝費等が増加するものの、増収により増益予想

《不動産》

- リフォーム事業の増収やマンション分譲の利益率の改善等を見込み増収増益予想

《流 通》

- 百貨店部門で、主に「あべのハルカス近鉄本店」において訪日外国人に対する売上高が想定を上回って推移するほか、内装子会社における大口受注等もあり増収増益予想

《ホテル・レジャー》

- 営業収益は、ホテル部門で近隣ホテルとの競争激化等により減収も、水族館部門で「海遊館」が堅調を維持する見込みであるため直近予想並み
- 営業利益は、旅行部門で、上半期の増益を反映し増益を見込むが、ホテル部門での減益もあり直近予想並み

近畿日本鉄道 運輸成績

	2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増 減	増減率(%)	直近予想	増 減
輸送人員 (千人)	578,037	579,498	1,461	0.3	576,852	2,646
定期外	235,556	238,633	3,077	1.3	236,474	2,159
定期	342,481	340,865	△ 1,616	△ 0.5	340,378	487
営業収益 (百万円)	156,444	157,400	955	0.6	156,500	900
旅客収入	149,292	150,541	1,248	0.8	149,732	808
定期外収入	101,687	103,254	1,567	1.5	102,380	873
定期収入	47,605	47,286	△ 318	△ 0.7	47,352	△ 65
運輸雑収等	7,151	6,858	△ 293	△ 4.1	6,767	91
営業利益 (百万円)	30,001	29,400	△ 601	△ 2.0	28,700	700

設備投資 借入金・社債残高

(単位：百万円,倍)

	2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増 減	直近予想	増 減	増 減 要 因 (対前年)
設備投資	78,229	81,000	2,770	85,000	△ 4,000	
運 輸	27,970	33,000	5,029	33,000	0	
（うち鉄軌道）	(24,821)	(25,000)	(178)	(25,000)	(0)	新型名阪特急新造
不動産	34,927	22,000	△ 12,927	25,000	△ 3,000	前年「都シティ東京高輪」リース取得、 「近鉄銀座中央通りビルⅡ・Ⅲ」取得
流 通	7,739	12,000	4,260	13,000	△ 1,000	百貨店各店売場改装
ホテル・レジャー	6,004	10,000	3,995	10,000	0	
その他	1,254	2,000	745	2,000	0	
調 整	333	2,000	1,666	2,000	0	
借入金・社債残高	1,055,904	1,040,000	△ 15,904	1,050,000	△ 10,000	
EBITDA	119,975	122,000	2,024	121,000	1,000	
借入金・社債 / EBITDA	8.8	8.5	△ 0.3	8.7	△ 0.2	

減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2019/3期 通期実績	2020/3期 通期予想	増 減
運 輸	減価償却費	27,185	29,000	1,814
	EBITDA	60,128	61,600	1,471
不 動 産	減価償却費	11,558	12,000	441
	EBITDA	30,257	30,100	△ 157
流 通	減価償却費	7,049	7,500	450
	EBITDA	14,833	14,700	△ 133
ホテル・レジャー	減価償却費	4,392	5,000	607
	EBITDA	10,577	11,100	522
そ の 他	減価償却費	1,728	2,000	271
	EBITDA	3,219	3,400	180
調 整	減価償却費	281	500	218
	EBITDA	959	1,100	140
連 結	減価償却費	52,196	56,000	3,803
	EBITDA	119,975	122,000	2,024

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

お問合せ先

経理部

Tel : 06-6775-3465

Fax : 06-6775-3691

Mail : ir-info@rw.kintetsu.co.jp